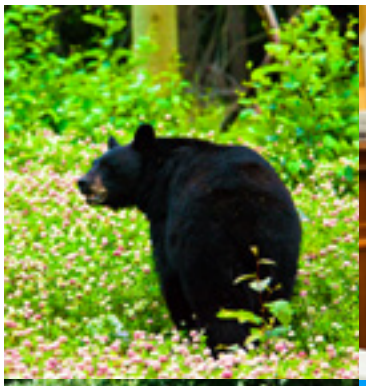
学校案内

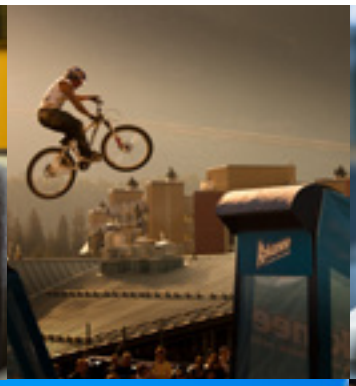
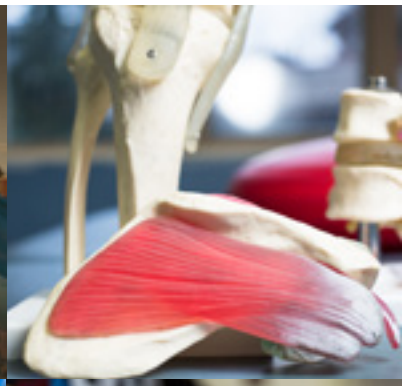
スポーツ留学専門学校

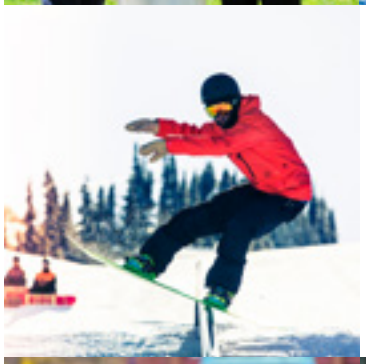
SNOWBOARD / SKI / SPORTS TRAINER / OUTDOOR & MTB / GOLF

Since 1996

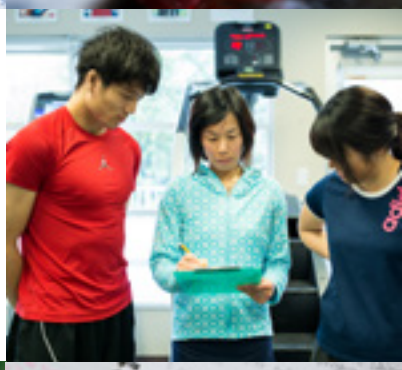
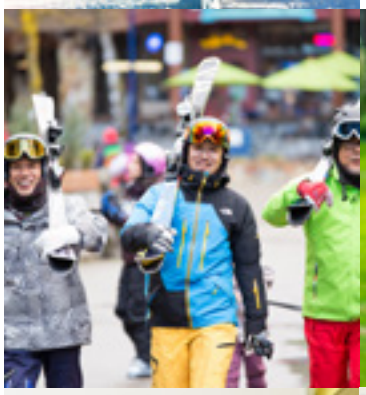
Canadian Sports Business Academy

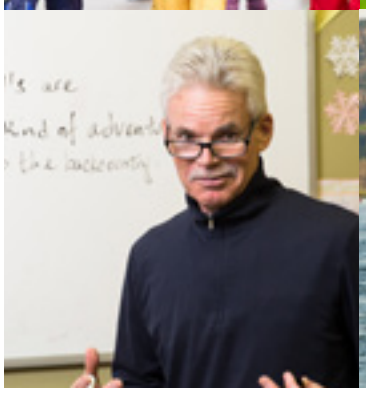




自 分 の 未 来 を 自 分 で 創 る 力 を



C O N T E N T S

校長インタビュー ……3
CSBA の 教 育 方 針 ……5
生徒に合わせたサポート ……6
スノーボードプログラム ……11
スキープログラム ……13
スポーツトレーナープログラム ……15
アウトドア & MTB プログラム ……17
ゴルフプログラム ……19
マルチプログラム ……21
語 学 指 導 ……22
高校進学プログラム ……23
ワーク・エクスペリエンス ……25
年間スケジュール ……27
学校説明会 & カウンセリング ……29

スポーツで考え方を学び、海外には実践できる環境があることを知った。行動を起こせばチャンスに巡り合う。そして活躍できる場所が他にもあると気付いた。

高校卒業後、ニュージーランドで仕事を始めた。

高校卒業後に大手重工業に就職しました。学生時代に野球部の寮に入り厳しい練習をしていた私は、自由な生活ができる喜びと同時に社会人として頑張っていこうという希望に満ち溢れ、新たな一歩を踏み出しました。

しかし、この頃は不景気で大手企業では残業もなく、予想していた忙しいビジネスマンというイメージとは正反対。のんびりした穏やかな事務所の中で、５時に帰宅する毎日の繰り返しでした。今思えば、まずは社会人としてゆっくりスタートできたわけですから恵まれていたのかもしれません。ただ、それまで厳しい練習で毎日を必死に取り組んできたため、なんとなく気が抜けてしまったわけです。

自分自身の人生はこれで良いのか？と自問自答することが増え、次第に人生これで終わりたくないと思うようになりました。会社の同じ部署には一流大学を卒業したエリートが多く、高卒の私がこれからの人生を歩んでいくために、とにかく実力をつけることが必要だと痛感しました。

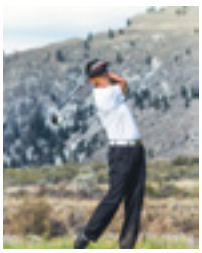
自分が勝てるものは何なのか？考えても答えは出ませんでしたが、もっと苦しいことに立ち向かって、肩の上に荷を乗せて歩くタイプだと言い聞かせ、思い切って海外に出ることを決心しました。家族の心配をよそに、人生をやり直すと言う気持ちで会社を退職し、３日後にはニュージーランドに向かっていました。

先ず行動した。未来を描ける様になった。

ある面、鉄砲玉のような生き方をしていると言われますが、行動を起こさずに後悔はしたくないと思えるようになったのも、野球というスポーツを行ってきたからだと思います。甲子園を目指して厳しい練習を行った割に、あっさりと予選で負けてしまった瞬間 、ぐっと寂しさがこみ上げ、もっと努力できたはずと振り返る自分がいました。二度とこんな思いはしたくないと思った瞬間でした。

海外に出てからは、苦労の連続ではありましたが、多くの方から叱咤激励され次第に自ら行動を起こすようになりました。ニュージーランド、シンガポール、マレーシア、タイ、ネパール、インドなどを回り、いろいろな文化を感じ、今まで見たこともない環境を体験しました。世界にはもっと自分に合っている場所がある、もっと活躍できる場所があると確信できたのも大きな収穫です。

世界を旅する中で、最も衝撃的で自分の人生を変えるきっかけになった出来事があります。ネパールのカトマンズのレストランで食事を終えて外に出た時、当時７～８歳の少年がタンクトップ一枚にお米の袋をかぶり立っていました。私がダウンジャケットを着ていたほどの気候です。可哀想になり、セーターを脱いで掛けてあげました。翌日同じ場所に行くと、またタンクトップ一枚で立っているのを見て、昨日あげたセーターは？と声をかけました。すると、古着屋さんに売って食べ物を買ったとのこと。地元の人に聞きましたが、彼は両親がいない孤児でした。その時、自分がどれだけ恵まれているのかを痛感しました。野球がきついとか、仕事にやり甲斐がないだとか、夢がないなどと言っていましたが、彼がもし日本で自分と同じ立場に生まれていたら、どれだけ幸せを感じるだろうと思うと、今までの甘えた自らの行動一つ一つが情けなく感



中島　史朗（CSBA 校長）

１９６４年生まれ。神奈川県相模原市出身。日本航空高校卒業後、旅行会社のカナダ現地法人を立ち上げ現地社長兼支店長に就任。旅行会社退職後、スポーツと英語を通じた人間形成を理念とする「CSBA」をウィスラーに設立。現在設立２０周年を迎える。「大リーガーを育てる」等の著者。

じてきました。夕日が沈み赤く染まったヒマラヤ山脈を見ながら、たった一度の人生、後悔しないよう思い切って生きよう、できることを精一杯やろうとその時決意しました。

スポーツで考え方を学んだ。

野球では Thinking Baseball（考える野球）というテーマで常に考えて取り組むことを学びました。走れと言われて走っている際、監督から止められて「なぜ走っているんだ？」と尋ねられたことがあります。それまで走る理由など考えた事もありませんでしたが、意図を持って取り組む事で練習に対する姿勢が変わりました。何を目的に練習を行うのかを考える癖をつけることで、より身になるということを監督から教えて頂きました。

練習は嘘をつかないという言葉がありますが、私は練習も間違って行えば逆効果になり得ると思っています。私はゴルフの指導も行っていますが、特に一人で練習する機会の多いゴルフは、何も考えずに打ち続けた結果、正しいスイングに修正しづらくなるケースがあります。

スポーツも人生も目的と目標を明確にすること、目標は次の目標へのステップであることを理解しながら取り組むことが大切だと思います。

CSBA の学校設立には自分の経験がきっかけとなっている。

私の経験から得たものを伝えたい、共有したい。そんな思いから本校は始まりました。“好きこそものの上手なれ”とはよく言ったもので、野球に夢中だった学生時代、野球のことであれば積極的に聞き、調べ、メモを取り、一生懸命になる自分がいました。その反面、興味のないことには全くと言っていいほど集中できませんでした。そんな実体験から、好きなスポーツなど興味のあることを題材にすれば、知識はもとより、物事への取り組み方など人生に必要な多くのことも学べるのではないかと思いました。そして、私が海外に出て重要だと痛感した語学やコミュニケーション、プレゼンテーション能力を学べるプログラムを提供できないかとも考えました。

更に興味のあることを実務経験を通して学ぶことも大切だと実感しました。私の場合、海外でツアーガイドをしている時、実践の場だからこそ得たことがたくさんあります。例えば､実用的な英語やコミュニケーション能力、そして何より仕事に対する責任感です。ツアーガイドは会社の顔。そういったプライドを持って働いていました。実務体験の場として、カナダはスポーツが文化となっており、あまり細かいことは気にせず、好きならやらせてあげようという寛大な考えのもと、スポーツに関係した実務経験の出来る環境が多くあります。とりわけ大自然と恵まれたスポーツ環境、そして世界から素晴らしい人々が多く集まるウィスラーは学びの場として最適だと思いました。

スポーツを追求しながら専門知識を含む多くのことを学ぶ。そして、学んだことを海外での実務経験を通して体得する。そう自らの経験で感じたことが、本校の設立のきっかけです。

未来を描く事、思考力の向上が、スポーツの技術向上にも大変重要である。

夢を持つことが大切だとよく言われます。夢を持つことは人生の苦難に陥った時に乗り越るパワーになります。そして夢を持つことでが未来を描くことにつながり、未来を描くことで、どうすれば夢を実現できるかを考え始めます。

私は少しでも多くの世界を見て欲しいと思っています。なぜなら限られた世界しか知らなければ、限られた発想しか浮かばないからです。実際にその場に行き、自分の目で見て、空気を感じ、人と触れ合うことでしか得ることができないものがあります。そういった経験を積み重ねることで新たな可能性に気付いたり、手の届かないと思っていたことが現実味を帯びていくということもあるでしょう。これが思考力を養い、未来を描く力につながると思います。思考力は問題解決力、判断力、そして豊富なアイデアを生む力になり、人生においてもスポーツにおいても向上するために重要な部分となります。

私は海外に出て３０年以上になりますが、この年になっても世界を見ること、知ることで更に大きなチャンスがあると改めて感じています。これからの日本の未来を担う皆さんには、少しでも早く世界の扉を開けて欲しいと切に願っています。

CSBA の教育方針

“挑戦無くして、成功はありません。”

CSBA ACTION

CSBA では３つのアクションを大切にしています。

未来を描くこと	挑戦すること	継続すること

すべては自分の未来を自分で創る力を養うためです。

的確な目標設定

生徒全員が的確な目標を持っているわけではありません。
ＣＳＢＡでは目的と目標を明確にすることからはじめます。

生徒の目的、目標に合わせたサポートを最重要に考えています。

ワークプログラム

スノースクール、ガイド、スポーツジム、フィジオ、ベースボールキャンプ、ゴルフ場、その他スキー場を含むリゾート内で実務経験を行い、学んだことを実践的に習得します。

大会・遠征のアレンジ

ワールドカップ、ＦＩＳからローカルレベルの大会、ゴルフミニツアー、カナディアンオープン予選、資格試験、講習会など目的と生徒のレベルに応じた遠征を行っています。

カウンセリング

海外での長期滞在には、技術面、私生活のことなどで不安になることもあるでしょう。生徒のモチベーションをキープできるよう、定期的にカウンセリングを行っています。

ボランティア

ウィスラーでは毎月世界クラスの大会を含めた多種イベントが開催されています。ボランティア活動で地元の人達と交流し英語の習得、コミュニケーション能力の向上を図ります。

ウィスラーの環境を最大限に生かして、スポーツを通じて
「社会人」または「アスリート」としての目標達成に向かって取り組みます。

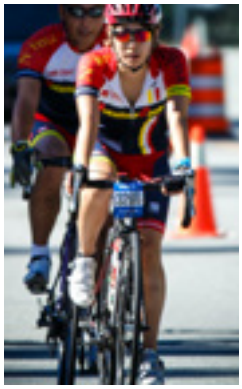
生徒に合わせたサポート

スキーを追い求めて来たカナダ。ロードバイクで新たな感動を得る。

スキーインストラクター２年

櫻木静奈

北海道の高校に進学しスキーを学び、卒業後にCSBAへ留学。1年目にCSIA Level 1 及び２を取得し、スキースクールでの実務経験を行いながら２年目にLevel ３を取得。



▲辛かったバイクレースは、一生の思い出。

１年目に資格取得、スキースクールでの実務経験と充実した日々を過ごす中、シーズン半ばに転倒し膝靭帯断裂。手術を行い、辛いシーズンの幕切れとなりました。夏に行うマウンテンバイクは手術後の私には負担が大きく大変不安でしたが、校長から９月に行われるロードバイクレース”GranFondo”に出てみないか？ と提案され、最初は半信半疑でしたが、新しい目標を掲げ、もう一度頑張ってみようという気になれた瞬間でもありました。レースに向けて毎週６０キロのトレーニングを行いました。このレースはバンクーバーからの１２２キロ、海岸線の美しいコースですが、アップダウンの激しいコースとしても有名です。スタートして５時間弱、ウィスラービレッジゲートに入った時、今までの辛かった思い出が走馬灯のように蘇り、ゴールを間近に思わず涙が溢れてきました。カナダに来て、CSBA のスタッフと自分に合った目標を設定し、一つ一つハードルを超えてきました。今まで想像できなかったほど何事にも挑戦している自分を嬉しく思います。

生徒に合わせたサポート

スノーボードでの留学に、野球がここまで役に立つとは思わなかった。

スノーボードアスリート２年

奥野秀基

野球一筋の少年時代。そして敦賀気比高校野球部に入学。３年間甲子園を目指して厳しい練習に打ち込む。卒業後、一度は大学に進学するも、スノーボードの夢が捨てきれず、思い切ってカナダ留学を決意。

▲野球は世界共通、メジャーリーガーの教え。

入学前の学校長との面談時にカナダでのサポートに役立てられるよう目的や目標、特技などを確認して、カナダの環境を使って何ができるのかを話し合いました。その結果、野球の経験を活かしてメジャーリーグ出身のコーチたちが行っているベースボールキャンプのコーチをしたらどうかと提案していただきました。入学後の７月後半から８月末までウィスラーを離れベースボールキャンプが行われているオカナガン地方に一人旅立ちました。英語もわからず、野球の指導方法も学んだわけではありません。新しい世界に入るのは容易ではありませんでしたが、コーチの方々に助けていただき、次第に打ち解けていくことができました。朝のコーチミーティング、トレーニングメニューの確認など不慣れなことばかりでしたが、素晴らしい経験を積むことができました。英語は継続して学んでいきますが、まずは人と人とのコミュニケーションが大切であり、自らが行動を起こすことが重要だと痛感しました。この経験を生かして、これからの人生に役立てていきたいと思います。

生徒に合わせたサポート

一度離れた教育現場。でもやっぱり私は子どもたちに教えることが好き。。

スノーボードインストラクター１年

時田昌美

小学校教師を経てカナダへ留学。カナダでも教育に携わりたいと考え、ウィスラーの地元の子どもたちに日本語教室を開く。

▲子どもたちの笑顔は世界共通。

私は日本で小学校教師をしていました。教師をしながら休みの日にはスノーボードを楽しんでいましたが、次第に海外でも滑ってみたいという気持ちが湧いてきて留学を決意しました。留学前からカナダでも子どもたちに何かを教えたいという希望を持っていた私は、CSBA のサポートのおかげでウィスラーの子どもたちに日本語教室を開くことができました。カナダと日本では国民性や文化の違いがあります。しかし子どもたちの笑顔は世界共通でした。忙しい毎日の中で毎週末に会う子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

多文化主義のカナダでは、様々な人種が１つの社会を作り、文化、宗教、価値観が違う人々がお互いを認め合って生きています。また、私はこの留学で学んだことと、個を尊重するカナダの教育方針を今後の私の指導方針に取り入れ、日本での教育現場にも活かしていきたいと思います。

夏休みを利用して、隣のユーコン州へオーロラを見に行く生徒もいる。

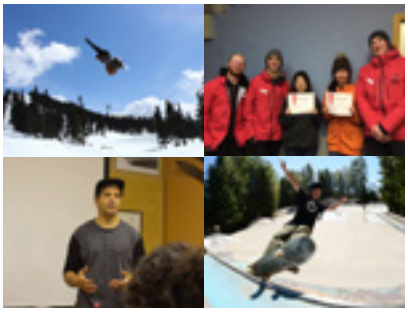
▲特定のスキル向上がスノーボードの上達といえるのでしょうか？

スノーボードプログラム

Snowboard Program

本物のライダーとは総合的なスキルの高いライダーを指しています。

北米最大級のスノーリゾートウィスラーブラッコムには200以上の多様な滑走コースや初心者からトッププロまでがレベルに合わせて練習ができる5つのスノーパーク、ハーフパイプの他に、ツリーゾーン、氷河エリア、バックカントリーゾーンが壮大に広がっています。また7月末まで滑れるシーズンの長さも魅力で、この総合的なスキルを学べる環境を求めて世界のトップライダーが集まり、トレーニングを行っています。



△　ツリー、新雪、パーク、パイプなど総合スキル向上に必要な環境

△　資格取得とスノースクールでの実務経験で、英語での実践的な指導力を習得

△　トップライダーの集まる環境で次代のスノーボーダーを育成

△　スケートボードパーク、トランポリン施設の他、各種オフトレに最適な環境

△　スノーボードを通して、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ Curriculum

		インストラクター	アスリート	ジュニア	スキルアップ	ビギナー
期間	短期				●	●
	シーズン				●	
	1年以上	●	●	●		
フィットネス／バイオメカニクス		●	△	△	△	△
リーダーシップ／ First Aid		●	△	△	△	△
イクイップメント整備		●	●	●	△	△
スキルデベロップメント		●	●	●	●	●
アバランチコース		●	●	●	△	
インストラクターセオリー		●			△	△
ESL		●	●	●	●	●
メンタル、フィジカルトレーニング			●	●	△	△
トランポリン			●	●	△	△
コンディショニングバランスチェック			●	●	△	△
		カナダのスノーボードインストラクター資格、CASI の取得を目指します。更にはインストラクターとして即戦力で活躍するためにカナダのインストラクター協会の推奨する指導理論も学びます。多くの卒業生が実際にインストラクターとして国内外で活躍しています。	「心技体」をバランス良くトレーニングし、大会エントリーレベルからプロライダー、オリンピック選手まで個々が持つ理想のスノーボーダー像に近づくことを目指します。広大なゲレンデでのフリーライディングや様々なレベルのパークでプロのコーチやライダーが指導します。	アスリートとして自立できるように食事、体調、生活リズムなどの自己管理が出来るように指導を行います。また、アスリートとして「心技体」をバランス良く伸ばし、1年3ヶ月のプログラム終了後は地元高校進学、アスリートコース進学などの進路の選択が可能です。	限られた滞在期間内で特定のスキルを伸ばしたい、資格を取りたい、英語も学びたいなど個々の希望に対応する1週間から1シーズンまでの短期カスタムプログラムです。個々の目的や目標に合わせて授業を選択、アレンジし、短期間での目標達成をサポートします。	スノーボード初心者のためのプログラムです。スノーボードを楽しみながら、英語・コミュニケーションスキルを学び、グローバルな人間育成を目的としています。基礎ライディングを習得し、卒業後はインストラクターやアスリート、高校進学などの進路の選択が可能です。

※上記の各授業内容は1年目を中心に代表的なものを抜粋して掲載しています。上記以外の授業もございますので、詳細はお問い合わせください。
※インストラクタープログラムのカナダ政府への正式な登録名は、スノースポーツプロフェッショナルプログラムとなり、書面上分かり易く記載するためにインストラクターとしてあります。

▲卒業生・在校生からのコメント

佐藤夏生
アスリート・高校進学コース
現在はオリンピックを目指しプロ活動中

楽しかったカナダでのスノーボードと高校生活

私はカナダに4年間滞在し、そのうちの3年間はウィスラーの高校へ通いました。高校入学前は不安でしたが、自分から積極的にコミュニケーションを取っていくうちに自然と友だちが増え、卒業時には英語でのコミュニケーションもスムーズにできるようになっていました。高校生活とスノーボードの両立は大変でしたが、多くの人に支えられて最高の環境でスノーボードのトレーニングもできました。

英語もスノーボードも初心者だったけど楽しい留学ができました！

私のカナダに来る前のスノーボード経験は2回。英語も中学、高校の授業で学んだ程度の英語力しかなく、会話は全く出来ませんでした。最初は慣れない英語でのコミュニケーションに手間取りましたが2年間の滞在中にカナダのスノーボードインストラクター資格のレベル2まで取得しました。現在はカナダで学んだスキルを活かし、日本で外国人を相手にスノーボードインストラクターをしています。

大上優
インストラクターコース2年
現在は外国人を教えるインストラクターとして活動

▲インストラクター資格を取得すれば、指導者になれるのでしょうか？

スキープログラム

Ski Program

スキー本来の楽しさを引き出し、それを伝えるスキルを持っていることが指導者の条件です。

カナダのスキー技術は自然の環境、状況に合わせて滑ることを重点に置いています。そのため、カナダの人々は自然の環境下で行うスキーというスポーツを全身で体感し、満喫しています。そんな彼等をリードすることが、インストラクターやガイドの役割であり、技術向上だけを重視するのではなく、スキーというスポーツ本来の楽しさを引き出しながら、アドバイザー的役割を果たせることがプロフェッショナルの条件です。

△　基礎、レーシング、フリースタイル、バックカントリーをバランスよく学べる環境

△　資格取得とスキースクールでの実務経験で、英語での実践的な指導力を習得

△　レーシングやモーグルチーム、カナダスキー協会との連携によるサポート体制

△　１１月～７月まで、年間９か月滑れる世界でも有数のロングシーズン

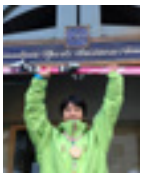
△　スキーを通して、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ Curriculum

		インストラクター	アスリート	ジュニア	スキルアップ	ビギナー
期間	短期				●	●
	シーズン				●	
	１年以上	●	●	●		
フィットネス／バイオメカニクス		●	△	△	△	△
リーダーシップ／ First Aid		●	△	△	△	△
イクイップメント整備		●	●	●	△	△
スキルデベロップメント		●	●	●	●	●
アバランチコース		●	●	●	△	
インストラクターセオリー		●			△	△
ESL		●	●	●	●	●
メンタル、フィジカルトレーニング			●	●	△	△
トランポリン			●	●	△	△
コンディショニングバランスチェック			●	●	△	△
		大自然の環境を最大限利用し、基礎からオフピステまで総合的な技術を身につけます。またカナダスキー指導協会（ＣＳＩＡ）のメソッドを通して、英語での指導力の習得と資格取得を行います。２年目の生徒にはスキースクールでの実務経験を通して実践の場で活躍できる能力を養います。	アルペンまたはフリースタイルでのアスリートを目指すプログラムです。メンタルトレーニング、フィジカルトレーニングを始め競技によってはトランポリンなども取り入れ、心技体のトレーニングを行います。目標設定から逆算した計画を生徒が理解して取り組めるよう指導していきます。	アスリートとして自立し海外で活動できるよう自己管理能力向上を目指します。アルペン競技者はウィスラーマウンテンスキークラブ、フリースタイルではウィスラーブラッコムフリースタイルチームに所属します。２年目からウィスラー高校に進学しトレーニングを継続します。	１週間の体験入学から３か月間まで、１週間単位で参加できるプログラムです。毎日滑りたい、英語も学びたい、資格取得にも挑戦したい、せっかくなら観光やその他のアクティビティーも体験したいなど参加者のレベル、目的に合わせてスケジュールを調整します。	スキーの経験がない初心者、運動経験の少ない方のためのプログラムです。スキー技術の向上を目指しながら、英語・コミュニケーションスキルを学びます。無理をせずに段階的な技術指導を行い、希望する方には最終的にインストタクター資格の取得が目指せるように指導していきます。

※上記の各授業内容は１年目を中心に代表的なものを抜粋して掲載しています。上記以外の授業もございますので、詳細はお問い合わせください。
※インストラクタープログラムのカナダ政府への正式な登録名は、スノースポーツプロフェッショナルプログラムとなり、書面上分かり易く記載するためにインストラクターとしてあります。

▲卒業生・在校生からのコメント



原　大智
ジュニアアスリート
カナダ高校進学プログラム

オリンピックを目指して、自立心を養えたカナダ留学

モーグルでのオリンピック出場を目指し留学を決意しました。１年目は生活習慣に慣れることで精一杯でした。カナダのスタイルは周囲を気にせず自分のペースで取り組めます。年々自身のスタイルが確立できるようになりました。結果を焦るのではなく、目標に向かってできる準備をすることが大切だと理解し、結果を焦らずに取り組んだことが良い結果につながってきたと思います。カナダでの経験を今後のアスリート人生に生かして世界一を目指して頑張ります。

資格取得とカナダでのインストラクターを目指して

大学卒業後の進路に迷っていました。スキーを専門的に行ったことがありませんでしたが、今からでも十分にその道に進めるというスタッフの方のお話を聞き留学を決意しました。他の生徒より遅れて入学をしましたが、CSBA では各生徒に合わせたサポートをしてくれるので不慣れな私でも問題なくスタートできました。専門的な指導を受けながら、カナダでのインストラクターという今まで思ってもみなかった目標ができ、実現に向かって頑張っています。

下土居　彩
スキーインストラクタープログラム

▲資格取得と理論の指導だけで、現場で活躍できるトレーナーは育つのでしょうか？

スポーツトレーナープログラム

Sports Trainer Program

知識や資格と並行してトレーナーに最も重要なのは、人と人とのコミュニケーションスキルと実践の場を多く経験することです。

フィジカルトレーナーに必要な基礎と実践をバランスよく学びながら、世界で活動できるトレーナーを目指すプログラムです。授業ではベースボールキャンプなどの実務経験を通してコミュニケーション能力を養っていく他、北米で活躍する多くのトレーナーと接することで自身の未来を描いていきます。
ＣＳＢＡでは専門知識は勿論、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などビジネススキルも学びます。

△　日本語と英語でトレーナーの基礎知識をしっかり学ぶ

△　多種スポーツを体験しながら、選手の目線でスポーツを理解する

△　ベースボールキャンプやアスリート管理を通して、実践の場を多く経験する

△　専門知識の他、プレゼンテーション能力などのビジネススキルを学び将来に役立る

△　スポーツトレーナーを目指しながら 、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ Curriculum

		スポーツトレーナープログラム１年目	スポーツトレーナープログラム２年目
期間	短期		
	シーズン		
	１年以上	●	●
フィットネス／バイオメカニクス		●	
リーダーシップ／ First Aid		●	△
インストラクターセオリー		●	△
ESL		●	△
アスレチックインジュリー		●	△
スポーツマネージメント		●	△
スポーツコンディショニング		●	△
ビジネスファンデーション			●
リーダーシップマネージメント			●
ワークエクスペリエンス			●
		スポーツトレーナーの中でも、主にフィジカルトレーナーとして、カナダ国内及び国際ライセンスの資格取得に向けフィットネス理論、ウェイトトレーニング、スポーツビジネスなどスポーツトレーナーに必要な基礎知識を学んでいきます。また夏季シーズンはマウンテンバイク、ロッククライミング、セーリング、カヌー、ハイキング、冬季シーズンはスキー、スノーボードなどのスポーツを本格的なフィールドで実際に体験しながらプレーヤーの側面からも理解を深めていきます。特に北米で活躍するトレーナーは自らがスポーツに精通し、常にトレーニングを継続しています。現場で活躍する多くのトレーナーと接する機会を多く持ち、将来どのようなトレーナーを目指していくかということも明確になるよう指導していきます。	フィジカルトレーナーの中でも、各自の進むべき方向を視野に入れて、将来につながるような経験となるように実践の場を提供していきます。本校のアスリート生へのピリオダーゼーショントレーニング管理に必要なトレーニングメニューの作成及びトレーニング指導、シャドーイング（指導体験実習）、ベースボールキャンプ体験実習などの他、地元のサッカーチーム、バスケットボールクラブなどのアシスタントスタッフなども生徒に合わせてサポートし、積極的に取り組んでいきます。 またスポーツトレーナーとしての専門知識だけではなく、スポーツトレーナーとしてビジネスに繋げていくために必要となるイベント企画、プロモーション、プレゼンテーションなどのスポーツマネージメントも同時に学んでいきます。

※上記の各授業内容は代表的なものを抜粋して掲載しています。上記以外の授業もございますので、詳細はお問い合わせください。

▲卒業生・在校生からのコメント

森実利
スポーツトレーナープログラム

世界で活躍できるグローバルトレーナーを目指して

日本のトレーナー専門学校を卒業後、海外での実績を積みたいということから北米でのトレーナー事情を学ぶためにCSBA への留学を決めました。カナダではベースボールキャンプなどの体験実習を通し、英語でのコミュニケーション能力が如何に必要なのかを学びました。将来の自分を描けるようになったことも大きな収穫でした。お陰様で日本のトレーナーオブザイヤー新人賞に選ばれ現在は NIKE NRC Coach としても頑張っています。

バスケットの経験を生かして、動けるトレーナーになりたい

バスケットの経験を生かして、選手をサポートする立場になりたいと思いスポーツトレーナープログラムに入学しました。CSBA では多種スポーツ、ハイキングなどのアウトドアスポーツを経験し、スポーツを理解することも同時に進めます。北米で活躍するトレーナーは自らが選手の見本になれるよう常に身体を鍛えています。この経験を生かし、選手と一緒に動きながら治療とトレーニングを合わせたパーソナルトレーナーとして頑張っています。

信太美紗都
スポーツトレーナープログラム

▲知識や装備の方法を覚えれば、スペシャリストになれるのでしょうか？

アウトドア＆MTBプログラム

Outdoor & MTB Program　*MTB＝マウンテンバイク

本場のフィールドで多種アウトドアスポーツを実践的に経験することが必要です。

ウィスラーは世界有数のアウトドアスポーツリゾートであり、最先端のアウトドアスポーツに触れることができる環境であることは間違いありません。スペシャリストとして今後活躍していくためには机上の学習よりも、本場のフィールドでのアウトドアスポーツを楽しんだ経験、カナダでのインストラクターが重要視するコミュニケーションスキル、そしてアウトドアスポーツ業界の将来を見据えるグローバルな国際感覚が必要です。

△　世界一のダウンヒルバイクパークでのライディング指導

△　ウィスラー中に張り巡らされたクロスカントリートレイル

△　毎週開催されるバイクレースへの参戦

△　本格的なアウトドアスポーツが手軽に楽しめる恵まれた環境

△　アウトドアスポーツを通じて、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ Curriculum

		アスリート	ジュニア	スキルアップ	ビギナー
期間	短期			●	●
	シーズン	●		●	
	1年以上		●		
フィットネス／バイオメカニクス		△	△	△	△
リーダーシップ／ First Aid		△	△	△	△
イクイップメント整備		●	●	△	△
スキルデベロップメント		●	●	●	●
インストラクターセオリー			△	△	△
ESL		●	●	●	●
メンタル、フィジカルトレーニング		●	●	△	△
コンディショニングバランスチェック		●	●	△	△
バックパッキング／キャンプ		△	△	△	△
フィールドトリップ		△	△	△	△
		「心技体」をバランス良くトレーニングし、大会エントリーレベルからプロアスリートを目指す方を対象としています。ウィスラーのマウンテンバイク環境を活かしたトレーニング、毎週開かれるレースにも参加します。フィジカル、メンタルトレーニングなど各種トレーニングも行います。	アスリートとして自立できるように食事、体調、生活リズムなどの自己管理が出来るように指導を行います。また、アスリートとして「心技体」をバランス良く伸ばし、プログラム終了後は地元高校進学、アスリートコース進学などの進路の選択が可能です。	ハイキング、カヌー、マウンテンバイク、ロッククライミング、キャンプなどの知識や経験を積みたい方へのプログラムです。ウィスラーではアウトドアスポーツが生活に定着しています。最高の環境でアウトドアスポーツに携わる総合的なスキルをバランス良く習得していきます。	アウトドアが好きだけどまだあまり経験がない方や、カナダでのアウトドアを楽しみたいという方のためのプログラムです。ハイキング、キャンプからマウンテンバイク、ロッククライミングなどのアウトドアスポーツまで参加生の希望に合わせてプログラムをアレンジします。

※上記の各授業内容は1年目を中心に代表的なものを抜粋して掲載しています。上記以外の授業もございますので、詳細はお問い合わせください。

▲卒業生・在校生からのコメント

中嶋貴子
マルチプログラム
（スノーボード／アウトドア）

全てが圧倒的なスケールで学べたカナダでのアウトドア留学

留学前、こどもに携わる仕事をしている時にこども達に自然体験をさせたいと考え、本格的なアウトドアのスキルと知識を学ぶため CSBA に留学を決めました。ウィスラーではマウンテンバイクやキャンプ、スノーボードなど体験すること全てが想像以上で、特にシーカヤックで1週間無人島を旅したことは忘れられません。現在、町の施設で英語をこども達に教えたり、スノーボードに関する翻訳の仕事を得ることができたのもこの留学の成果だと実感しています。

ワールドカップ出場を目指して

一度は日本の高校に入学しましたが、どうしても世界の舞台に立ちたいという夢があり、CSBA のジュニアアスリートプログラムに入学しました。ウィスラーのマウンテンバイク環境は施設、コースは世界クラスでマウンテンバイクは生活の一部となっています。世界中からトップライダーが集まり、トップクラスの技術に触れ、優秀なコーチ／指導者のもとで練習に打ち込めます。今後はウィスラーの高校に進学し、世界で戦えるライダーを目指して頑張ります。

仲井　慧
マウンテンバイクジュニアアスリート
／カナダ高校進学プログラム

▲有名なコーチからコーチングを受ければプロゴルファーになれるのでしょうか？

ゴルフプログラム

Golf Program

目標達成に必要な課題を指導者と選手が共に理解しながら、実践的に取り組むことが必要です。

未来の姿を思い描く思考力を養いながら、目標に合わせた実践的なトレーニングができる環境です。生徒の目的とレベルに合わせて、的確な目標設定を行い、生徒自身が理解して取り組んでいきます。選手を目指す人には、年間２０試合程度の大会出場が可能、インストラクターを目指す人には、資格取得とゴルフ場での実務経験も可能です。技術向上を行いながら実践的に学べるようサポートしています。

△　宿泊先からゴルフ場までは、自転車で通える距離にあり、いつでも練習が可能

△　必要に応じて日本人とカナダ人のコーチングをバランスよく受ける

△　夜９時まで明るくいつでも練習とラウンドをバランスよく取り組める

△　定期的に北米での遠征を行い、多種ゴルフ場、ゴルフ文化を学ぶ

△　ゴルフを通じて、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ Curriculum

		ＣＰＧＡ資格取得	コアアスリート	アスリート	ジュニア	スキルアップ
期間	短期			●		●
	シーズン		●	●	●	●
	１年以上	●	●		●	
フィットネス／バイオメカニクス		●	●		●	
リーダーシップ／ First Aid		●	●		●	
スキルデベロップメント		●	●	●	●	●
インストラクターセオリー		△				
ESL		●	●	△	●	△
メンタル、フィジカルトレーニング		●	●	△	●	△
ルール		●	●	△	●	△
コンディショニングバランスチェック		●	●	●	●	△
ＰＧＡカナダモジュール		●				
クラブフィッティング		●	●	△	●	△
		カナダのプロ資格取得を目指します。１年目の夏はラウンド、レッスン、練習をバランスよく行い、冬は体力強化、資格取得に必要な学習、バンクーバーでの大会へ出場及びアメリカ遠征で定期的にプレイを継続します。２年目の夏はゴルフ場での実務経験とプロテスト受験に挑戦します。	ゴルフアスリートとしてアスリートレベルの向上とライフスタイルマネージメント能力の育成を目指します。フィジカル、メンタル、テクニカルの強化を中心に、大会に向け取り組みます。まずは人生のゴールを明確にし、短期、中期、長期の目標を設定することから始めます。	１週間から３ヶ月間で試合に向けたサポートを希望している方の為のプログラムです。主に社会人、シニア、学生の方でウィスラーをベースに各自のペースで練習をしながら、定期的にバンクーバー周辺のミニツアーに出場します。カナダの環境下で実践的なトレーニングを行います。	夏は豊富なラウンドと練習、コンディショニング管理、メンタルトレーニングを行います。冬は体力強化と遠征などを行い、１年を通してゴルフアスリートとしてライフスタイルマネージメント能力の向上を目指します。２年目からはウィスラー高校に進学し、トレーニングを継続します。	１週間以上の短期プログラムとして、目的に合わせてスケジュール、レッスンを提供します。初心者から上級者まで、技術向上、旅行と合わせたゴルフバカンスなどレベルと目的に応じて対応します。またゴルフ以外にもハイキング、乗馬、観光などのアクティビティーも手配可能です。

※上記の各授業内容は代表的なものを抜粋して掲載しています。上記以外の授業もございますので、詳細はお問い合わせください。

▲卒業生・在校生からのコメント

植木圭都
PGA カナダ プロ資格取得プログラム

積極的な自分を取り戻せた、カナダへの CSBA ゴルフ留学

日本でゴルフをしていましたが、大学入学後、何事にも本気で取り組めず、なんとなく時間が過ぎていました。親戚からＣＳＢＡを勧められ、思い切って留学を決意しました。 CSBA では常に目標設定を大切にし、考えて取り組むこと、失敗することを恐れずに挑戦することを学び、気づいた時にはカナディアン女子オープンの予選やプロテストなど思ってもいなかった高い壁に挑戦していました。 未来を思い描き、挑戦し続けることを学んだゴルフ留学でした。

無限の可能性を感じ、未来が現実になると思えたカナダ生活

ゴルフは中級レベルでしたが、ツアー出場を夢見て CSBA に留学しました。自分の夢を決して否定される事なく、「世の中にはもっと多くの可能性がある」「まずは世界を見て未来を思い描き、的確な目標設定をしよう」とアドバイスを受けました。次第に将来は発展途上国でゴルフを通じて学べる学校を設立したいという目標が明確になり、現在は PGA カナダの Class A 資格を目指し、トレーニングと実務経験に取り組んでいます。

内田宇紀
ゴルフアスリートプログラム

▲生徒一人一人に合わせた自分だけのオリジナルプログラム

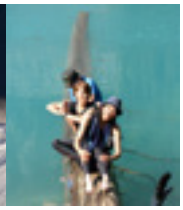
マルチプログラム

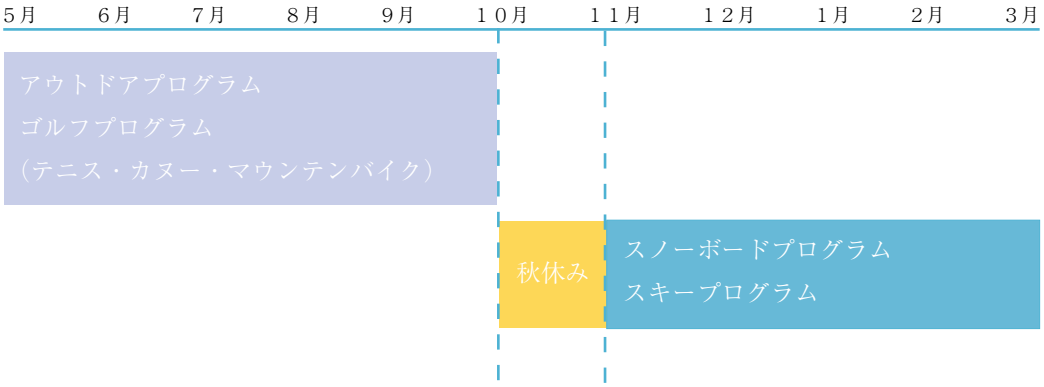
Multi Program

夏季プログラム　＋　冬季プログラム

夏のメインスポーツと冬のメインスポーツを合わせ、総合的にスポーツを学ぶ

長期プログラムにある夏のスポーツと冬のスポーツを合わせて１年間のプログラムとします。夏はゴルフまたはアウトドア、冬はスキーまたはスノーボードのそれぞれ一つをお選びください。夏のスポーツと冬のスポーツの実践経験を積むことにより、スポーツリゾートのあるべき姿、環境や施設、運営面などを学ぶことができます。また既にある程度のレベルに達している方で、日本に帰国後に通年を通してインストラクターを目標にされている方は、プログラムに組み込まれている資格以外の資格の取得を目指すことも可能です。





英語　×　スポーツ

スポーツを大自然の中で体験しながら、英語を学ぶ

英語とスポーツを合わせてご希望に応じたプログラムをお作りします。 夏休み、春休みのジュニアキャンプなどがこのプログラムです。本校で取り扱うスポーツ以外にテニス、サッカーを取り入れることも可能です。テニスではプライベートレッスンまたはジュニアキャンプ。サッカーでは夏休み期間中のサッカーキャンプがあります。本校の長期生が行うハイキングなどのイベントも合わせ、語学とスポーツを合わせてカスタムプログラムを提供します。テニス、サッカーのキャンプは日程が限られていますので事前にご確認ください。

	夏季	冬季
午前	ESL	各プログラム
午後	各プログラム	各プログラム
夕方		ESL

語学指導

スポーツの技術向上を行いながら資格取得やワークプログラムを通して実践的な英語を習得します。

CSBA では興味のあるスポーツを通して英語を学ぶようプログラムを構築してきました。それは第一に英語が不慣れな人にとってはスムーズに英語に触れるきっかけとする部分、第二に、専門知識をより深く探究する中で資料を読んだり、コーチに質問するなど必然的に英語が関わってくるという部分、第三に、選手ではインタビューに対応したり、指導者では実際のレッスンで使う際に、プロフェッショナルとしてレベルに伴った英語が必要だと生徒自身が理解し行動することです。自らが質問事項や課題を用意し授業に参加してください。本校の授業では、より実践的に英語を学びたい方のためにサポートができるように講師が準備をしているもので、ただ参加するだけで英語力がつくというものではありません。

CASI

スノーボードの指導資格には英語での指導が義務付けられます。雪上で約２０分の英語での指導を行います。

CSIA

スキー指導資格には英語での指導が義務付けられます。雪上で約２０分～３０分の英語での指導を行います。

野球キャンプ

トレーナープログラム生の実習として参加します。選手、コーチとの英語でのコミュニケーションが重要です。

TOEIC

Test of English for International Communication の略で、日本で認知度が高い英語の試験です。

ケンブリッジ

Cambridge English Language Assessment の略で、主にヨーロッパで認知度の高い英語の試験です。

コーププログラム

２年目の生徒が授業に参加しながら、実務経験を行うプログラム名を別名でコーブと呼んでいます。

覚えた英語を実際に使う場所を提供する事を最重要に考えています。

本校では無理なく実際の場で英語を使えるように、全滞在期間を４ステップに分けて段階的に進めていきます。 ステップ１(Cycle) は滞在の全工程の流れを理解しながら、英語に慣れる機会を増やします。大会などのボランティアを学校が斡旋し英語環境に慣れていきます。ステップ２(Strength) は積極的に自らが行動し始める時期で、興味のある仕事環境や大会に生徒自身がアプローチして参加できるようサポートします。ステップ３(Balance) は応用に入る時期ですが、実務経験の中でスポーツと英語をバランスよく行えているかを確認しながら進めます。そしてステップ４(Action) は、生徒のゴールにより近づけた実務経験の中で英語を実践的に使っていきます。

アスリートの活動に合わせESL（英語クラス）の時間を組みます。

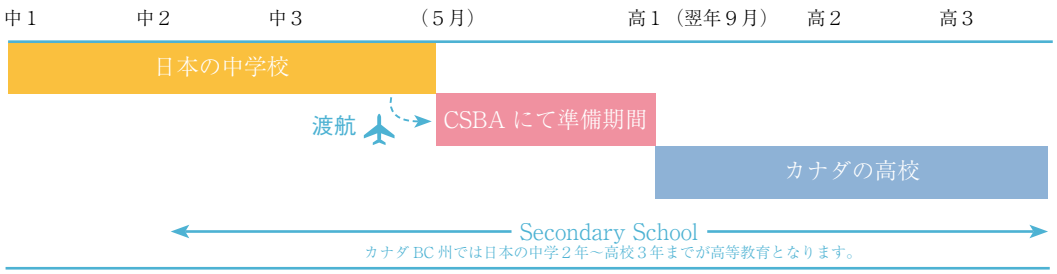
本校では英語をスポーツと同様に重要視してますが、生徒によってはアスリート、インストラクターとしてのトレーニング、資格試験、技術向上に欠かせないスケジュール等を優先しなくてはならないことがあります。それぞれのプログラムにおけるメインシーズン（ゴルフ、アウトドアは夏季、スキー、スノーボードは冬季）においては英語の時間をずらしたり、オフシーズンと比べて少なくしたり、また特別な遠征やイベント時には公欠とするなど、生徒の目的と目標を確認して臨機応変に対応しています。 またオフシーズン中に英語の授業の単位と同等の課題を設け、卒業に向けて生徒自身が準備して単位を取得できるようにサポートしています。

ウィスラーの環境を最大限に生かして、教養と技能を身につける。

高校進学プログラム

中学卒業後に日本の高校に進学せずに、CSBA のジュニアアスリートプログラムとして
１年３か月　カナダの文化と英語環境に慣れることから始めます。
２年目からはウィスラーの高校に進学し、引き続きそれぞれのスポーツのトレーニング
を行なっていきます。高校の３年間と合わせ、合計４年３ヶ月のプログラムです。

ウィスラー高校入学の流れ



サポート体制

BC 州では未成年の留学生には保護者代理人が必要です。

留学にはカナダ在住者がガーディアン（保護者役）となることが義務付けられています。
カナダ国内での緊急時にお世話をする人のことで、本校のディレクターが行います。

私生活

カナダの家庭の中に入り、ホームステイとして生活をします。ジュニア生には他の生徒とは異なり、起床、掃除、その他自己管理ができるよう私生活での指導を行います。

高校生活

カナダはマルチカルチャリズム（多用文化主義）でカナダ人以外の生徒も多く在学しています。大学と同様クラスはありませんので、友達作りは自分から積極的に行動して下さい。

アスリート

ウィスラー環境からもわかるよう、多くのアスリートが在学し世界に出ていますが、決してスポーツ英才教育をしているわけではなく、スポーツが生活の一部になっています。

ウィスラー高校ではスポーツ進学制度を導入しています。

バンクーバーオリンピック後、世界を目指してウィスラーの高校に入学する生徒も増えています。
遠征などが多い近年のアスリート環境を理解し、アスリートを全面的にサポートしています。

▲高校進学プログラム卒業生のインタビュー

世界レベルのライダーと触れ合い、スノーボーダーとして、自分のスタイルと未来を明確にできた。

日本の高校に一度入学しましたが、どうしてもプロスノーボーダーを目指してみたいという思いが強く、CSBA のジュニアアスリート＋カナダ高校進学プログラムへ留学を決めました。１年目は自己管理ができるように私生活からトレーニングの部分までの指導を受けました。カナダでは待っていては何もしてくれません。人とのコミュニケーションを大切にしながら、必要な時には Yes, No をはっきりと伝えなくてはなりません。日本にいた頃には考えられないほど英語も上達し、スノーボードのテクニックも身につきました。特に大きく変わったのは海外の選手と触れ合うことで、それぞれの生き方を目の当たりできたことです。メンタルトレーニングでは、目標設定、思い描くこと、考えて取り組むことが大切だと学び、卒業時には自分の未来を描けるようになっていました。これからも自分のスタイルを大切に、世界で一人しかいないスノーボーダーを目指して、業界の発展のために頑張っていきたいと思います。

ウィスラー高校
２０１３年卒業

阿刀暖

プログラム	高校進学プログラム＋スノーボードプログラム
留学期間	４年３ヶ月

スキーも学校生活も待っていたら駄目。カナダ留学で自ら行動するようになった。

小さい頃から双子の兄弟とアルペンスキーを行っていました。兄弟が高校留学をすることになり、自分は別の場所にということでアルペンスキーができてスポーツも専門的に学べる CSBA のジュニアアスリートプログラム＋カナダ高校進学プログラムを決めました。CSBA ではまずカナダの環境を自分自身で最大限使えるように英語と文化に慣れながら、自己管理ができるように指導を受けました。それは最終的に地元のアルペンスキークラブであるウィスラーマウンテンスキークラブでのトレーニングや高校生活を自分自身で取り組み、どのような時にも対処できる力をつけることでした。初年度こそペースをつかめないこともありましたが、次第にＦＩＳの大会遠征、コーチとのコミュニケーション、高校での授業への参加など次第に自分自身で考えて取り組めるようになってきました。まだまだ未熟ではありますが、北米の選手と対等に戦えるようになり、英語力をつけて自分の人生を切り開いていきたいと思います。

ウィスラー高校在学中
ウィスラーマウンテンスキークラブ所属

田續渉

プログラム	高校進学プログラム＋スキープログラム
留学期間	４年３ヶ月

ワーク・エクスペリエンス

人生で最も大事な事は人とどう関わるか、インターアクション

ウィスラー・ブラッコム　CEO

Dave Brownlie

カナダ　BC州立大学　ＵＢＣ（University of British Columbia）卒業、２０１２年よりウィスラーブラッコム社長／ＣＥＯとして活躍する。

在校生がウィスラーブラッコムで仕事をさせて頂く機会が多いのですが、留学生がウィスラーで働くことをどのように思われますか？

留学生は毎年ウィスラーでの経験を土産に羽ばたいて行きます。そして親善大使となりウィスラーを世界中に広めてくれています。双方にとって素晴らしい経験です。仕事では専門的な知識以上にお客様とのコミュニケーションが大切です。特にインストラクターにとっては、ゲストサービスを真剣に考えていただきたいと思っています。

ウィスラーブラッコムでの仕事では、どのような経験が得られると思いますか？

スタッフは世界中から集まってきています。多種多様な人々に出会い、社交的なスキルを磨くには最高の機会です。いつの時代も、人生で最も大事な事は、人との関わり（インターアクション）だと思います。

最後に日本から来る留学生に一言アドバイスをいただけますか？

人は好きな人、気が合う仲間のネットワークを作り出します。しかし新しい環境に身を置くことで、今までとは違った時間が始まり新たな経験が生まれます。周囲の人を理解し、何が必要かを察知し、それぞれの経験を共有出来るようになれば、それに勝るものはないでしょう。

▲コープビザで実務経験をした生徒のインタビュー

スキースクールの実務経験と世界中のスキーヤーとの触れ合いで、新しいスキー観を発見できた。

幼少時からアルペンスキーを志し、オリンピックを目指し、常に速く滑ることだけを追いかけてきました。この経験をもっと広げたいと思いCSBA入学しました。当初は２年目に仕事をする予定でしたが、スタッフの勧めで１年目のシーズン最初にレベル１と２を取得。COOPビザでスキースクールでの実務経験を行う機会を得ました。インストラクターの経験の無い私は、初心者へのレッスンが主でしたが、英語でのレッスンは簡単ではありません。また世界中から訪れるお客様を見て、この一瞬がお客様にとってとても大切な時間だと思うと緊張の連続でした。とにかく楽しい時間を過ごして欲しいという一心でした。スキースクールでは幾つかの新人教育に参加します。特にゲストサービスと安全面に関する部分は徹底されていました。スキーが世界の方々にこれほどまでに人気のスポーツであること、そしてその理由がよく理解できた実務経験でした。この経験を生かし、日本のスキー業界に恩返しをしたいと思います。

法政大学社会学部体育会スキー部卒業
インターハイ１１位　CSIA Level 3

根岸志帆

プログラム	スキーインストラクタープログラム
留学期間	２年

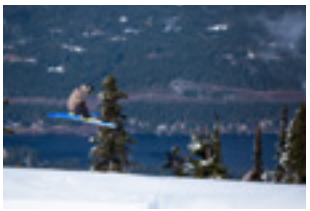
カナディアンとの仕事はコミュニケーションが命。

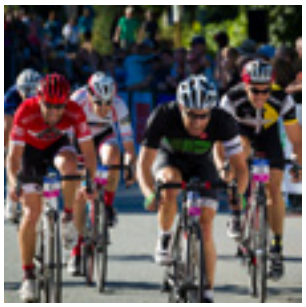
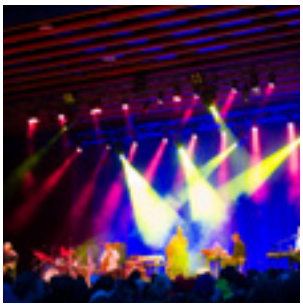
フリースタイルの有名なカナダのウィスラーで一度は滑ってみたいという気持ちを常に持っていました。弟がCSBAに留学すると聞き、自分も黙ってはいられず、後を追うように入学を決めました。１年間という限られた時間、とにかく体験できることを全て行うと決め、入学後の夏からプライヤーというウィスラーのスキー／スノーボードメーカーでアシスタントをすることになりました。英語の授業を公欠にしてもらい、学校とスキー工場を往復する毎日が始まりました。スキーを製造する工程を一つ一つ教えてもらい、最終的には自分でスキーのベースを削ることができるようになりました。ここでの仕事はハードでしたが、陽気なカナディアンとの仕事は疲れを感じさせることがないほど楽しい時間でした。仕事は専門知識が重要だと思っていましたが、実際には専門知識以上にチームワークが大切で、そのチームワークを築くために人と人が分かり合うコミュニケーションが重要であると感じた実務経験でした。

東京都立産業技術高等専門学校
医療福祉科卒業見込み

政井督史

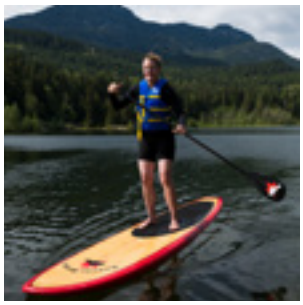
プログラム	スキーインストラクタープログラム
留学期間	１年

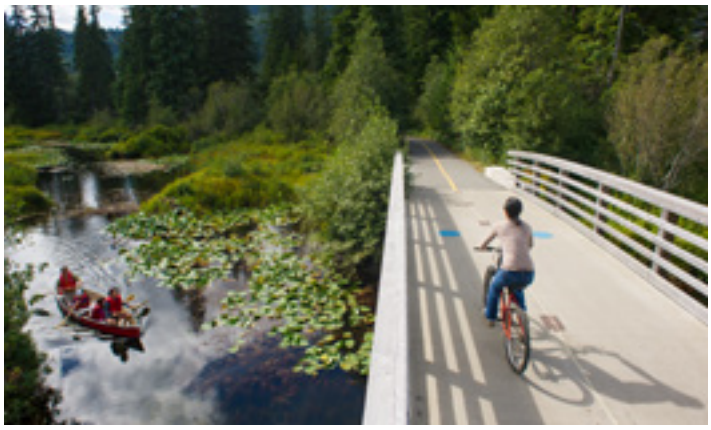


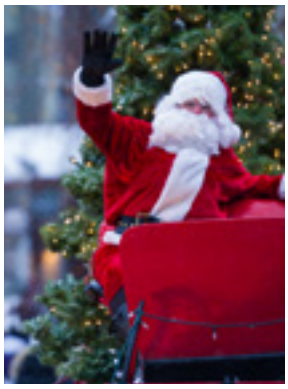
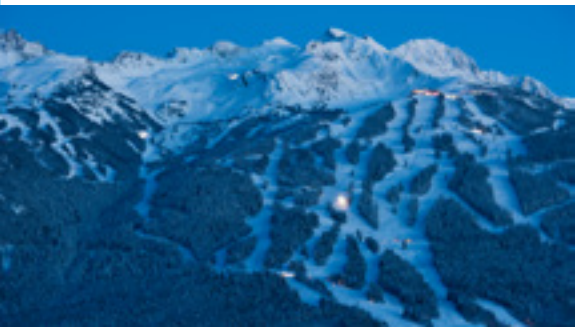



年間スケジュール

自然に身体が動き出す、年中休まないアウトドア
フィールド、ウィスラーの大自然全てがキャンパス





※写真提供：Tourism Whistler

5 月

入学式
オリエンテーション
バンクーバーショッピング
体力測定

6 月

ハイキング
グレーシャーキャンプ
カナダプロゴルフテスト
マウンテンバイクルーニーレース

7 月

カヌー川下り
ファーストエイド講習
トライアスロンボランティア体験
ゴルフチリワックオープン
ゴールデンイヤーズオープン
マウンテンバイクルーニーレース

8 月

セーリング講習
ゴルフ体験
クランクワークスボランティア体験
ゴルフバンクーバーオープン
ゴルフオカナガン遠征
マウンテンバイクルーニーレース

9 月

グランフォンドボランティア体験
エクスペディションキャンピング
マウンテンバイクルーニーレース

10 月

秋休み

11 月

冬季プログラム開始
オリエンテーション
体力測定
スキー場オープン

12 月

クリスマス休暇
スキー／スノーボードレベル１資格試験
ＦＩＳレース開幕

1 月

雪崩講習
ピーク To バレースキーレース
ゴルフＰＧＡゴルフショーフロリダ遠征

2 月

スキー／スノーボードレベル２資格試験
その他 各種資格／コース受講
ゴルフウィンターツアー参戦

3 月

バックカントリー
卒業制作プレゼンテーション
卒業式

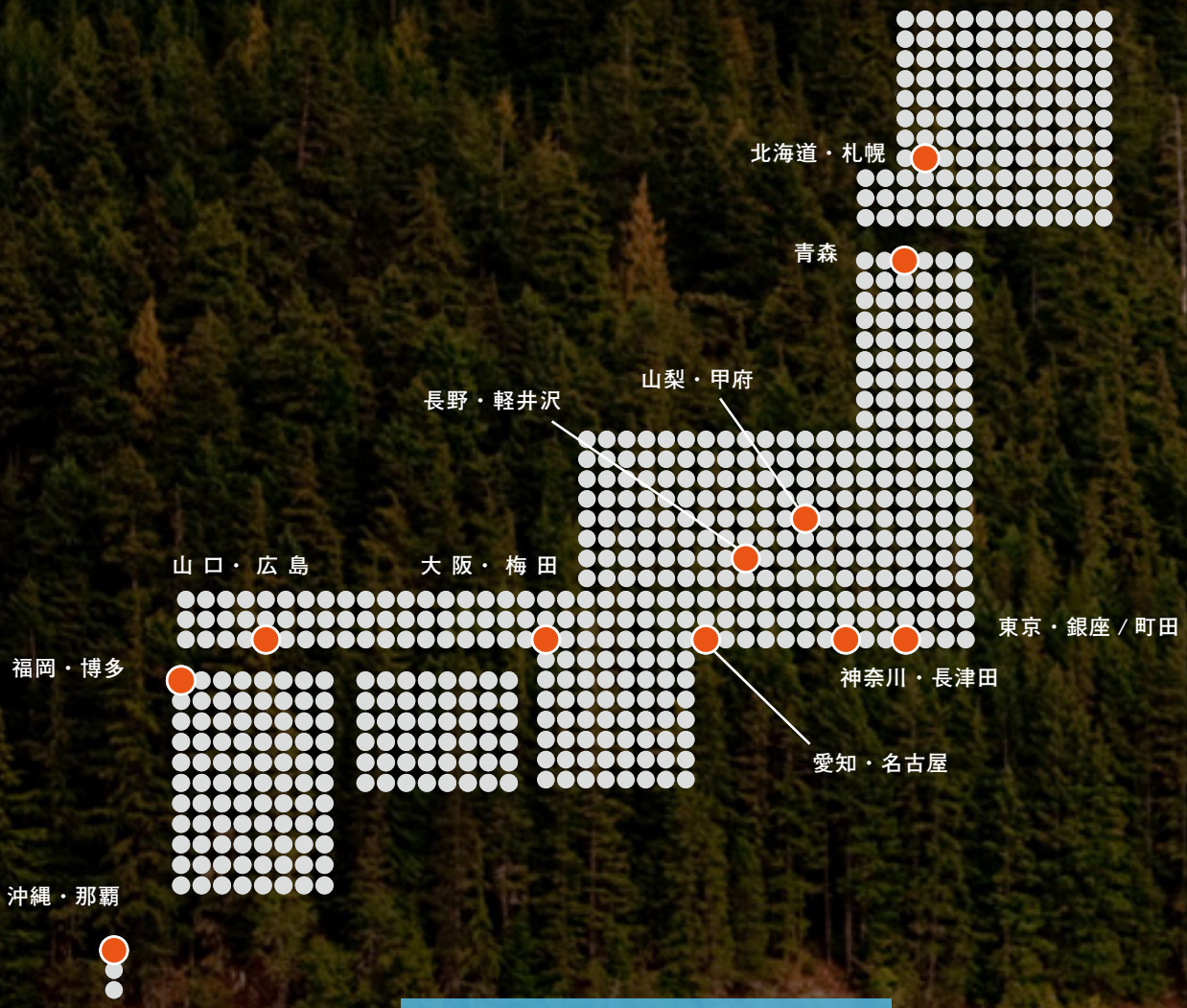
4 月

春休み
スキー／スノーボードレベル３・４資格試験
ワールドフェスティバル
ゴルフアビュータスリッジオープン

全国学校説明会 & カウンセリング

毎年１０月、２月、４月に学校長あるいは本校スタッフが日本全国でカウンセリングを行っています。
プログラム内容、現地での生活、その他不安な点などがございましたらこの機会にご確認ください。

開催地



お問い合わせ先

カナディアン・スポーツ・ビジネス・アカデミー
TEL：（０５０）５５３２－９９４６
E-mail：csba@csbawhistler.com
www.canada-sports.net

大半の人は「環境を大きく変える」という事に、多くの不安を感じます。英語が全くできない、体力やスポーツ技術に自信が無い、友達と交流するのが苦手、、などです。今世界で活躍している卒業生達も、皆同じ気持ちでカナダに来ました。

「失敗を恐れず挑戦する人には必ず結果がついてくる。」

そう信じて皆さんも大きな一歩を踏み出してください。

Canadian Sports Business Academy

カナディアン・スポーツ・ビジネス・アカデミー

ウィスラー本校

#202-4295 Blackcomb Way,
Whistler, B.C, CANADA V0N 1B4
カナダ・バンクーバー空港より北へバスで２時間
Tel: 604-932-0404
Fax: 604-932-8797
Email: csba@csbawhistler.com
URL: www.canada-sports.net

東京連絡事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 丸高ビル3F
Tel: 050-5532-9946（カナダ本校へ転送されます）
Fax: 03-6369-4903
※日本時間 1:00AM ～ 12:00PM(正午)